

# さんぽみち

## 発行者

兵庫県立総合リハビリテーションセンター  
リハビリテーション中央病院  
〒651-2181 神戸市西区曙町1070  
TEL (078) 927-2727  
FAX (078) 925-9203  
ホームページ<http://www.hwc.or.jp/hospital/>

## リハビリテーション中央病院の医師紹介

### 内科・循環器科

脳卒中、頭部外傷などによる運動・感覚障害、その他の後遺症の治療やリハビリテーションを専門スタッフとチームを組んで進め、家庭復帰・社会復帰を目指します。後遺症としての嚥下障害のリハビリテーションにも力を入れており、嚥下検査による評価のもとに症例検討会をもち、看護師、言語聴覚士らと協力し、口からの食事摂取を目標に種々の取り組みを行っています。

また、脳卒中の方には、基礎疾患として、高血圧、糖尿病、高脂血症、心房細動、虚血性心疾患などをみることが多く、これらの診断、各種検査による重症度の判定、生活助言、治療を行い、脳卒中の再発の予防に努めています。これらの疾患の患者様・ご家族の皆様には医師、栄養士、看護師、薬剤師、理学療法士による「生活習慣病を学ぼう会」を定期的に開催し、疾患の理解を深め、健康の維持、治療に役立てていただいています。

このほか、一般内科・循環器疾患の検査・治療も行っており、外来には一般の患者様も多く通院されています。検査としては、心臓・頸動脈・腹部の各種超音波検査や術前の心機能検査をはじめとし、他施設では実施困難な障害者に対する胃・腸透視や内視鏡検査、運動負荷試験など各種精密検査を実施し、常に“全人間的医療”を心がけています。



石原健造診療部長



早川みち子部長



谷崎俊郎部長



中村知子部長



高田雅美医長



高田俊之医長



楠仁美医長



戸田美佐医長



佐々木弘智医師

### 神経内科

各種神経疾患の診断と治療だけでなく、リハビリテーションも含めた一貫した治療を行っています。現在対象としている疾患で患者数の多いのは、脳血管障害・パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多発性硬化症・ギランバレー症候群や慢性炎症性脱髄性多発根神経炎などの末梢神経障害・頭部外傷後遺症・アルツハイマー病などの変性痴呆・多発性筋炎です。診断には、MRI・CT・電気生理学的検査（誘発電位・末梢神経伝達速度・脳波など）を駆使して行っています。

リハビリテーションに関しては、脳血管障害や神経疾患による身体機能や精神機能の障害に対して、年齢や残った障害の程度に応じて在宅生活や社会復帰を視野に入れた医療を行っています。

最近、脳血管障害や頭部外傷による高次神経機能障害（言語障害・記憶障害・注意能力の低下など）が増加しています。当神経内科では、常勤の臨床心理士による詳細な評価を含めたチームアプローチでの認知リハビリテーションを開始しています。高次神経機能障害で悩む患者様やご家族のご相談に応じています。

脳血管障害を始めとする神経系の障害で問題となることが多くなった排尿障害（神経因性膀胱）について、当院泌尿器科医師と協力して病態に応じた治療を目指しています。

もの忘れや痴呆の診断・評価・治療・ご家族への助言を行っています。ご遠慮なく受診してください。



横山和正副院長



井上貴美子医長



友田洋二医長



上野正夫医師

### リハビリテーション科

脳卒中・頭部外傷・脊髄疾患・神経疾患等によって引き起こされる麻痺や言語障害を中心とした「機能障害」、個々に異なる日常生活動作の障害すなわち「能力障害」、さらには住まいや環境に関して社会復帰を妨げている「社会的不利」の状況に対応して、段階的にリハビリ治療プログラムを作り、種々の専門職からなるチームアプローチおよび病院内外の多くの部門との連携を行い社会復帰にむけた治療を行います。



中野恭一郎長



加藤順一医長

### 整形外科

整形外科は3病棟150床を有し、1病棟50床は切断・脊髄損傷に対する専門的なリハビリテーション治療を、残り2病棟100床は一般整形外科病棟として関節や脊椎の慢性疾患を中心に、スポーツ障害や骨折などのあらゆる整形外科疾患に対する手術治療を行っています（2002年度の手術件数は845件）。特に、リハビリスタッフとリハビリ施設は充実しており、他院では治療の困難な切断患者様に対する義肢装着訓練や、脊髄損傷による下肢麻痺・四肢麻痺患者様に対する車いす利用での社会復帰を目指した日常生活訓練、さらには温水プール

を利用した術後の後療法は優れたものと定評を得ています。  
 整形外科医は13名で、このうち10名が整形外科専門医の資格を有しており（平成17年1月現在）、看護師・薬剤師・臨床検査技師・放射線技師はもちろんのこと理学療法士・作業療法士・栄養士・保健師・医療ソーシャルワーカーとともにチーム医療によるリハビリテーションを行っています。  
 また、常に最先端の医療を取り入れて日々の診療に生かせるように鋭意努力しております。



藤田久夫所長      司馬良一院長      澤村誠志顧問      高田正三部長      津村暢宏部長  
 陳隆明医長      尾崎琢磨医長      幸野秀志医長      石本勝彦医長      良原久浩医長  
 神崎至幸医師      村上華子医師      北川篤医長 兼務

泌尿器科

脊髄損傷や脳卒中などの神経疾患にともなう排尿障害（神経因性膀胱）、男性の前立腺肥大症、女性の腹圧性尿失禁など様々な排尿障害に対して、必要な場合にはビデオウロダイナミクスを含めた客観的な下部尿路（膀胱・尿道）機能評価を行い、診断、治療を進めています。  
 また、性機能障害を有する脊髄損傷患者様に対して、電気刺激射精法による精液採取と検査、バイアグラ等による治療、および性機能や性生活に関するアドバイスも行っています。  
 現在（平成17年1月）の外來担当医は、月・火曜日が仙石医長、金曜日が長谷川医師（いずれも、予約のない方の受付時間は午前8：30～11：30）水曜日午後と木曜日は予約検査日となっています。



仙石淳医長      長谷川麻衣子医師



リウマチ科



北川篤医長

中村知子部長 兼務  
 高田雅美医長 兼務

関節リウマチを代表とするリウマチ性疾患の治療を行っています。治療の理念は、先進的な医療とともに本センターの持つ機能を駆使して、患者様の“生活の質”の向上をはかることにあります。

治療は日常生活療法と薬物療法が基本ですが、本院の特徴は充実した施設での理学療法や作業療法、また自助具・装具作成を含めたリハビリテーションや福祉利用など多面的な対応が行えることです。手術の必要な患者様には整形外科と協力して人工関節置換術をはじめとするあらゆる手術を行います。

重度の障害を伴う患者様には総合相談室の医療ソーシャルワーカー、保健師、理学療法士、作業療法士があらゆる相談に応じます。必要ならば、家庭に訪問しての生活助言や家屋改造相談に応じます。また、介護保険を含めた地域の福祉サービスが利用できるように連携をはかります。

2002年度外來延受診者数は4,706名（新患73名）で、リウマチ患者様の手術件数は53件（人工股関節8件、人工膝関節19件、その他の人工関節4件、関節形成術5件、滑膜切除術4件、関節固定術1件、腱移行術1件、その他12件）でした。

麻酔科



瀧本眞部長

疼痛外來：痛みや、麻痺、シビレ感等の症状に対して、何が原因となっているかを診断し、種々の神経ブロック治療や薬剤を用いて、さまざまな難治性の慢性痛を含む疼痛をやわらげる治療を行っています。

また、東洋医学的観点から、主に漢方エキス剤の処方や針治療を行い、種々の困難な症状を治療しております。

当院の麻酔科外來では急性期の痛みだけでなく治療が複雑で困難な慢性痛に対して、ペインクリニック学会指定研修施設として辛い痛みを各科と共同して専門的に治療しています。長引く痛み、なかなかよくなる痛みについて諦めずに受診してみてください。

外來診療担当医表

平成17年3月1日現在

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	戸田 美佐	石原 健造	戸田 美佐	石原 健造	早川みち子
	中村 知子	高田 俊之	早川みち子	楠 仁美	高田 雅美
	楠 仁美	佐々木弘智	高田 雅美	中村 知子	高田 俊之
神経内科		横山 和正			
	AM横山/PM上野	井上貴美子	友田 洋二	横山 和正	友田 洋二
循環器科	谷崎 俊郎		谷崎 俊郎		
リウマチ科		高田 雅美	中村 知子		北川 篤
整形外科	良原 久浩	石本 勝彦	良原 久浩	澤村 誠志	石本 勝彦
	幸野 秀志	津村 暢宏	高田 正三	陳 隆明	津村 暢宏
	陳 隆明	北川 篤		幸野 秀志	
	高田 正三	藤田 久夫	尾崎 琢磨	司馬 良一	尾崎 琢磨
				神崎 至幸	
泌尿器科	診察	仙石 淳	仙石 淳	手術日	検査日
	検査・処置	長谷川麻衣子	長谷川麻衣子	午後検査	仙石 淳
リハビリテーション科				加藤 順一	中野 恭一
麻酔科		瀧本 眞	瀧本 眞	瀧本 眞	瀧本 眞